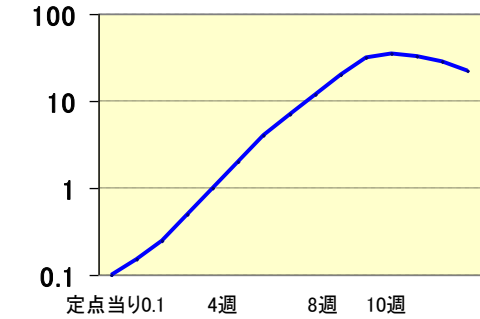


安佐医師会サーベイランス週報 第44週 平成24年10月29日(月)～平成24年11月4日(日)

地区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾向	コメント
定点医療機関数	4定点	5定点	2定点	2定点	4定点	5定点	2定点	1定点	1定点	25定点		
対象人口	70,301名	83,657名	36,558名	43,980名	57,838名	65,649名	20,919名	9,158名		388,060名		
定点数当り人口	17,575名	16,731名	18,279名	21,990名	14,460名	13,130名	10,460名	9,158名				
1 RSウイルス感染症				1		1			3	5	→	<p>【第44週 安佐圏域での各種感染症の動向】</p> <p>1. RSウイルス感染症: 5件、38週をピークに減少傾向</p> <p>4. 感染性胃腸炎:55→56件と横ばい</p> <p>11. 流行性耳下腺炎:2件</p> <p>12. インフルエンザ:0件</p> <p>21. マイコプラズマ肺炎:12→3件</p> <p><インフルエンザ情報></p> <p>広島市医師会インフルエンザ動向調査: 10月24日～31日 3件 11月1日～6日 3件 (キットでA型3件)</p> <p>広島市37定点: 43週 0件(今シーズン総計0件)</p> <p>全国:佐賀県定点当り1.18と流行入りレベル 沖縄県定点当り1.88と減少</p> <p>★再掲 <定点当り0.1から流行入り、 注意報、ピークまでの期間の予測図 ></p>  <p>定点あたりが0.1(安佐地区報告数3人に相当)になると、約4週後には定点当りが1、8週後には10、10週後にはピークが来る事が予測される …広島市の2004/5～2011/12 定点報告数より算出(新型インフル年度は除く)</p>
2 咽頭結膜熱			1		3	2				6	↑	
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	1								5	↓	
4 感染性胃腸炎	4	3	9		14	25		1		56	↑	
5 水痘	3	2	2	2	2	1				12	↑	
6 手足口病												
7 伝染性紅斑												
8 突発性発しん	1		1	2	2	1				7	→	
9 百日せき							1			1	↑	
10 ヘルパンギーナ				1						1	↓	
11 流行性耳下腺炎		1			1					2	↑	
12-Aインフルエンザ(A型)												
12-Bインフルエンザ(B型)												
13 急性出血性結膜炎												
14 流行性角結膜炎												
15 麻疹												
16 風疹												
17 MCLS(川崎病)												
18 髄膜炎(細菌性)												
19 髄膜炎(無菌性)												
20 マイコプラズマ肺炎				3						3	↓	
21 クラミジア肺炎												
22 その他												
合計	10	7	13	9	22	32	1	1	3	98		

全医師届出義務の感染症(保健センター)

全会員に即情報
保健センターへの届出用紙有り

一言“**イットコール**” 安佐医師会 **873-1840**にも連絡を頂けると助かります!

【急性ウイルス性肝炎、ベロ毒素産生腸管感染症(O157、26、など)、麻疹、風疹、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】

